

溺れ！
ていく

ダメな私は
完璧なあの
人に

千氏夜

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



大学を卒業して
希望通りの会社に
就職出来た私は――

人生がうまく
いったと思う



職場には頼りに
なる上司もいて
充実していた



別の部署に
異動が決まって
次もうまくやれる
自信もあった



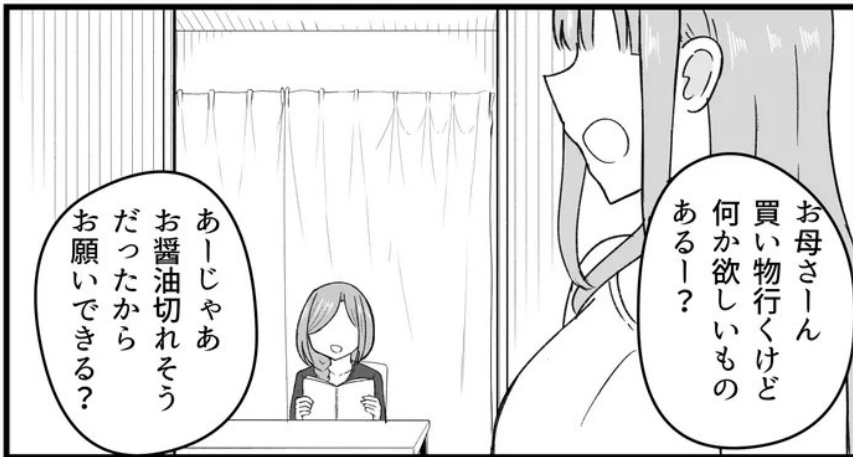
千堂さん
向こうでも
頑張ってね

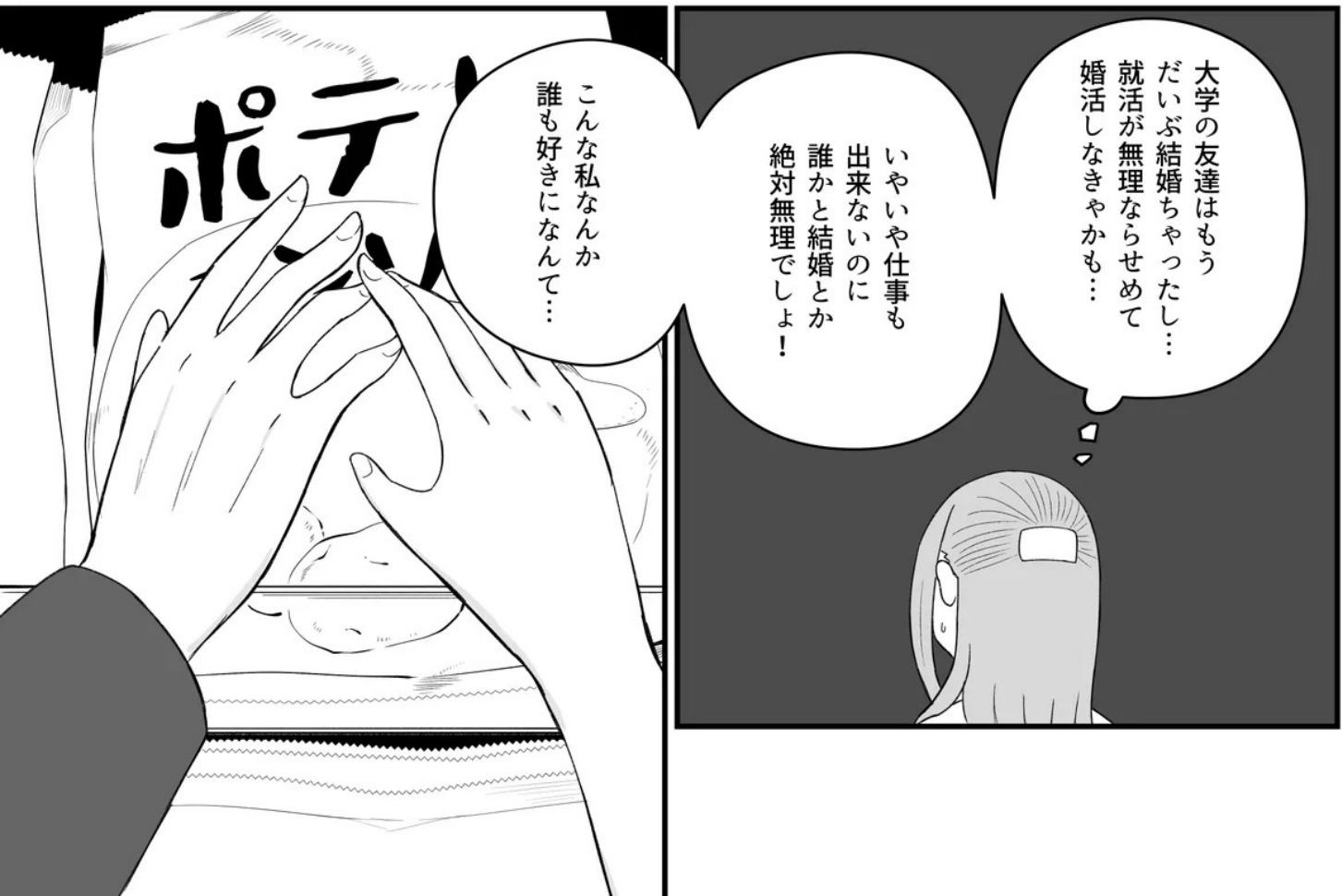
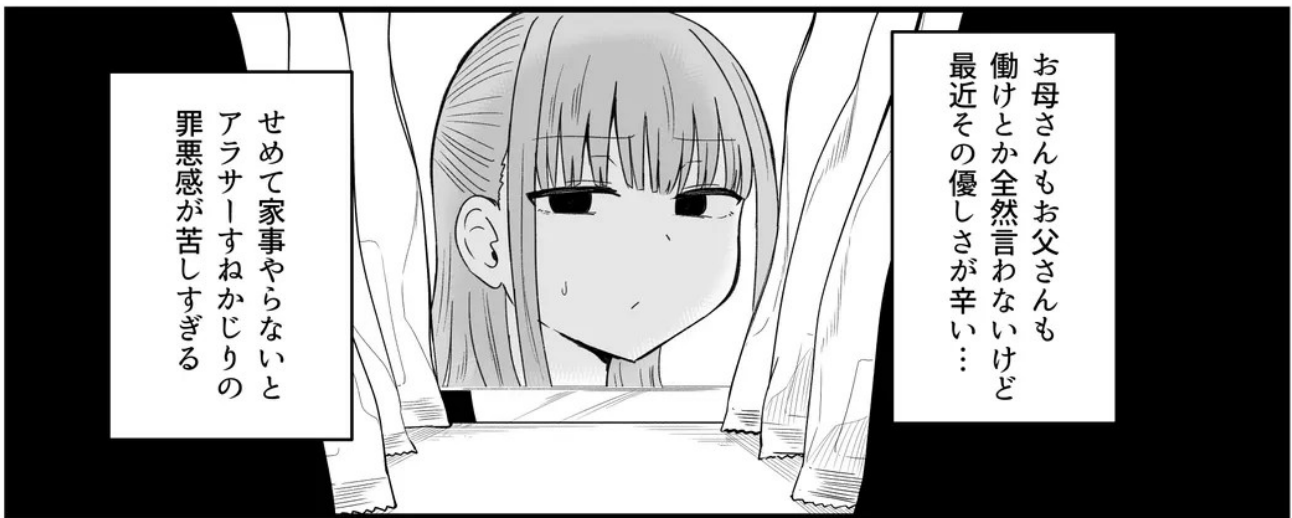
はい！



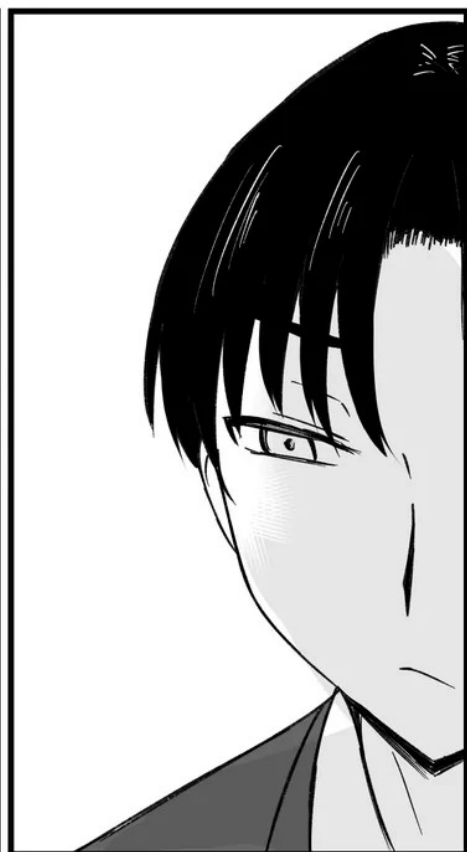
けど新しい場所は
私には厳しくて

いつの間にか
息ができなくて
それで――











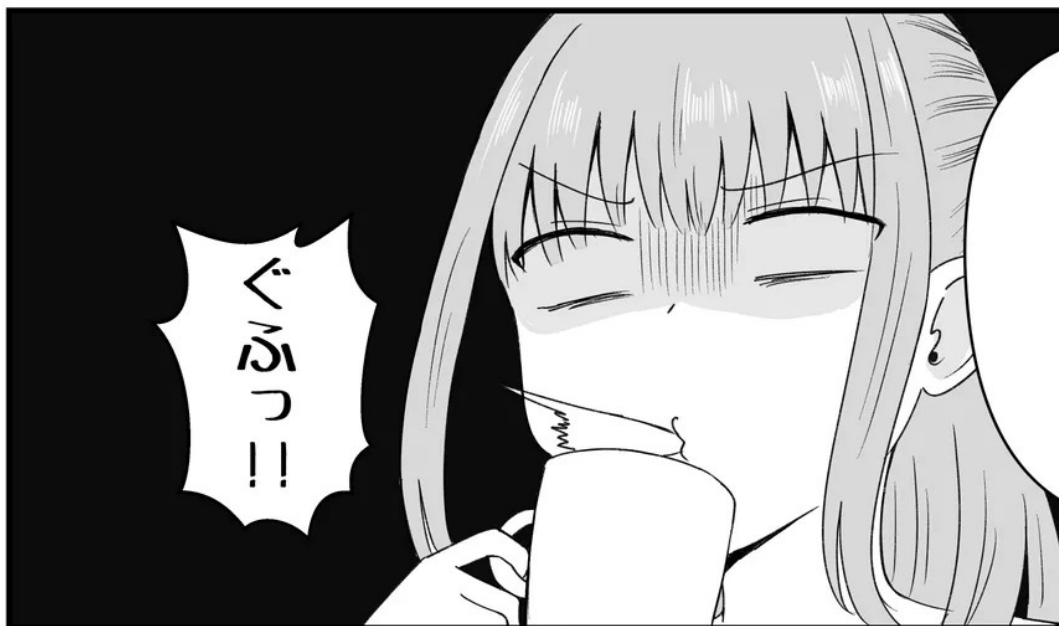
なんとなく
逃げられなくて
ついて来てしまった…
气まずい…

でも小鳥遊さんは
会社に入ったときに
優しくしてくれた人
だし少しくらいなら
話してもいいよね…



急に悪いね
ホントに時間
大丈夫だった？

あっはい
全然平気です！



単刀直入に言うけど
千堂さんって今も
仕事探してたりする？

ぐふっ！！



あはは
千堂さんって
嘘つきの苦手
だよな



そそそんなこと
ない…ですよ？
今は違う会社で
バリバリに働いて…







あーそうそう
話が早くて助かるよ

ああ！ドラマとかで
見たことありますっ
お互い利害の一致で結婚
っていう感じの…



今回の話は結婚という
体裁を取った雇用…
みたいなものかな

衣食住が提供される
代わりに家事とか
やってもらいたいんだ



でも今この私が
知らない男性の妻として
やっていける自信は
全然ない!!



どうかな
こういう話は
興味ない？

私の課題だった
就職も結婚も
叶うってことか

確かにそれが
出来るなら
願ったり叶ったり
な話ではあるけど…



あれ？そこ
伝わって
なかったかな

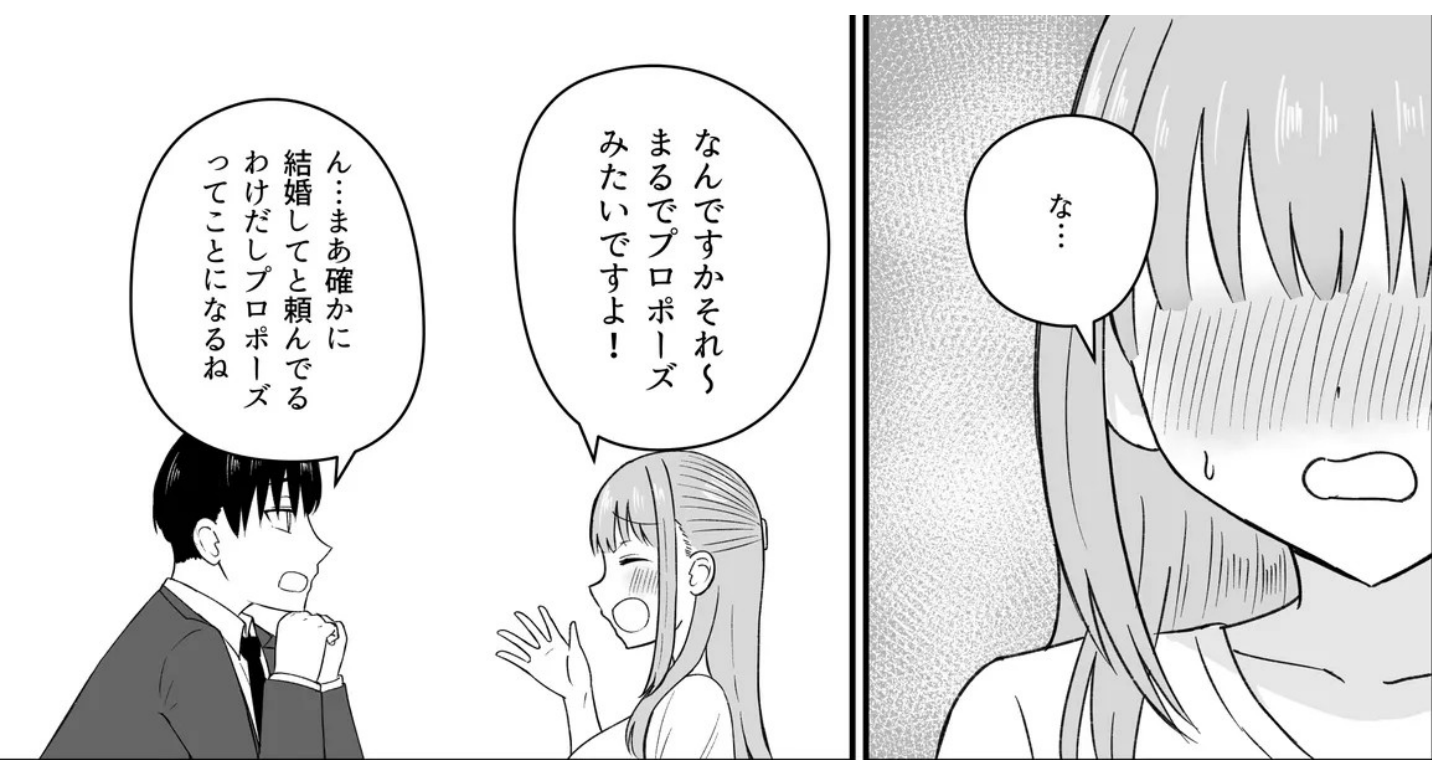
あのちなみに…
お相手って
どういう方
なんでしょうか…

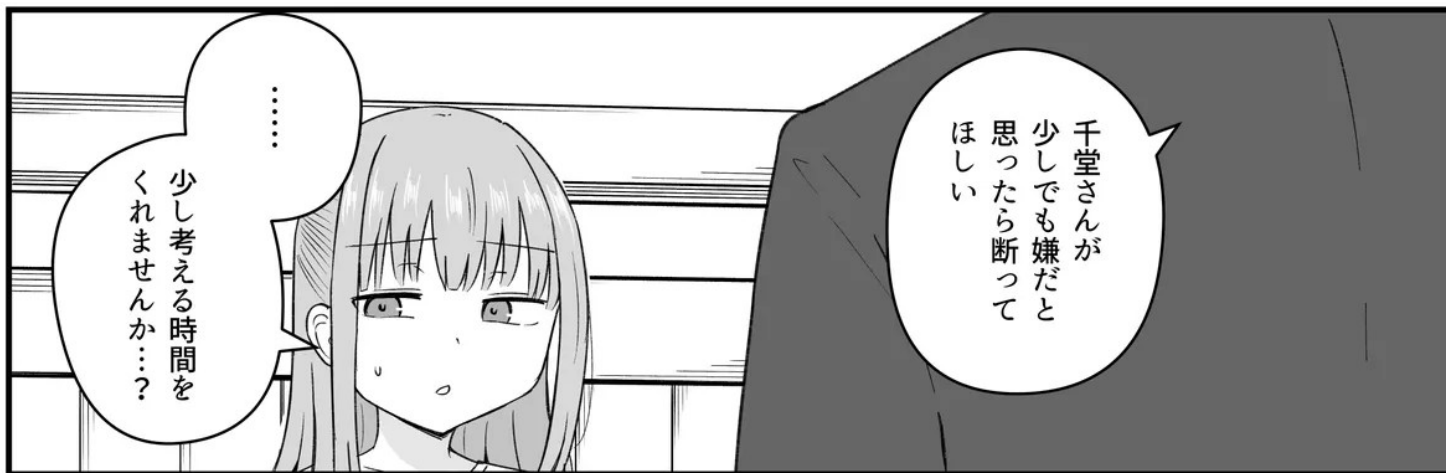


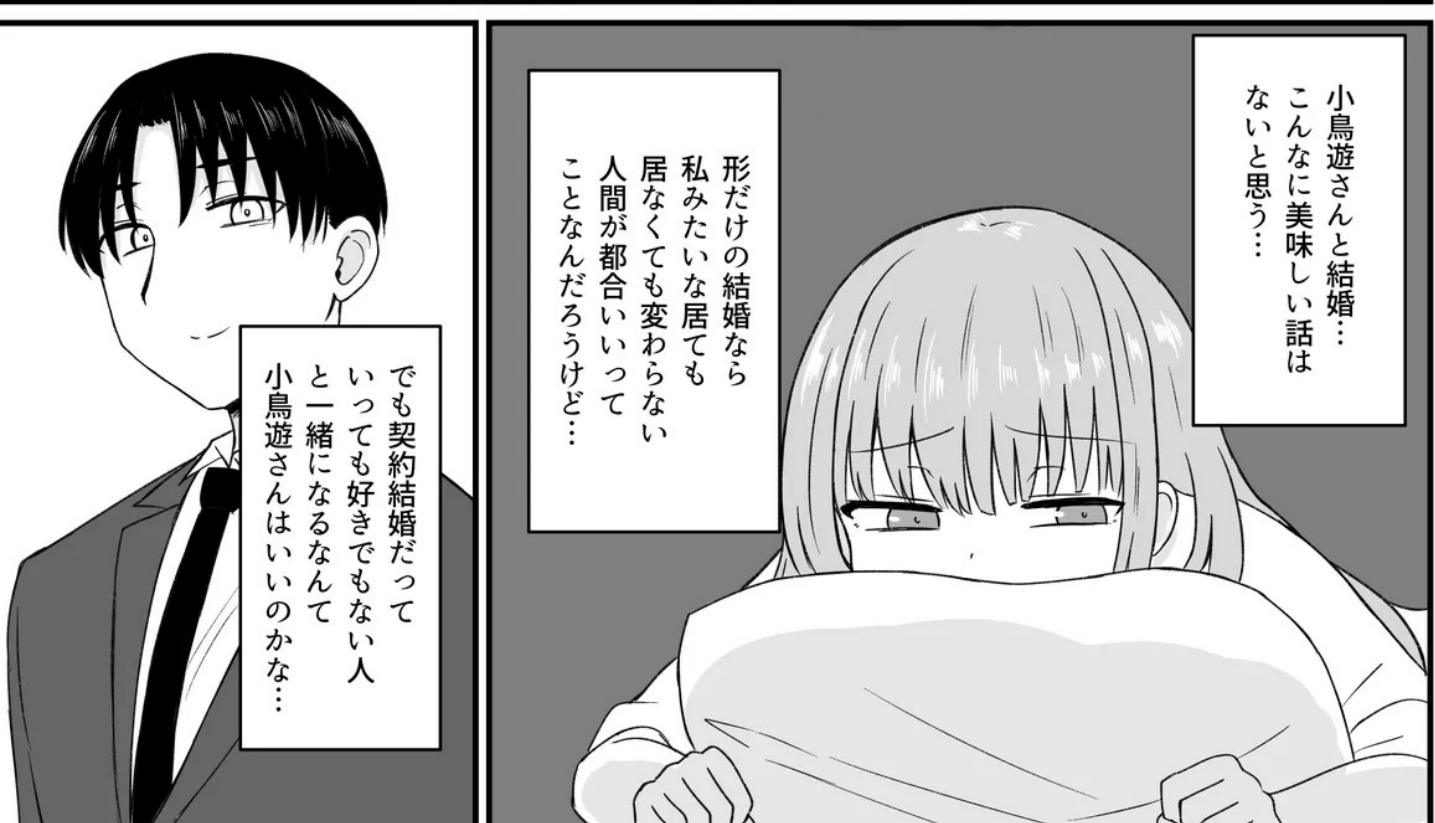
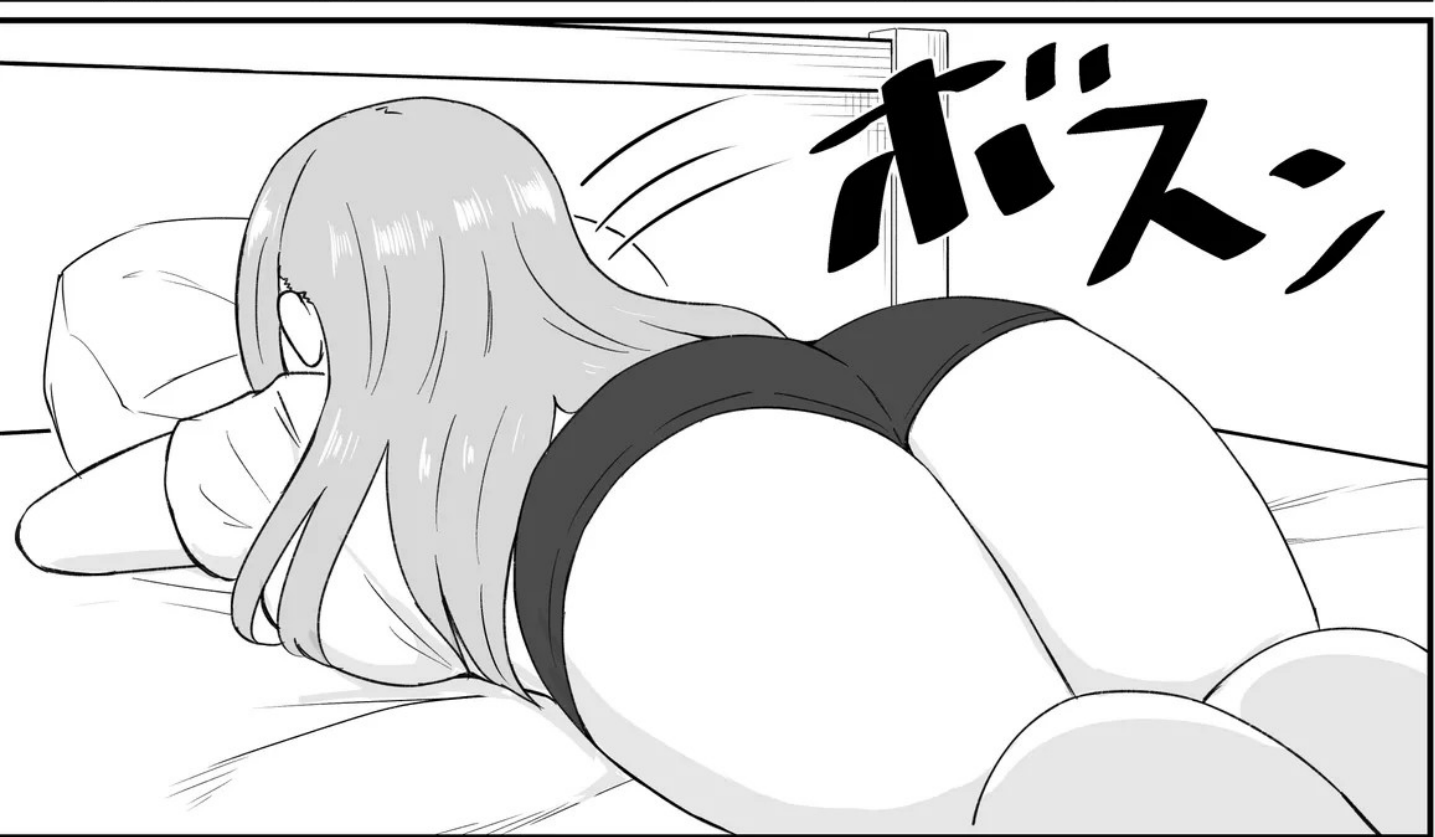
俺だよ



俺と結婚して
ほしいんだ



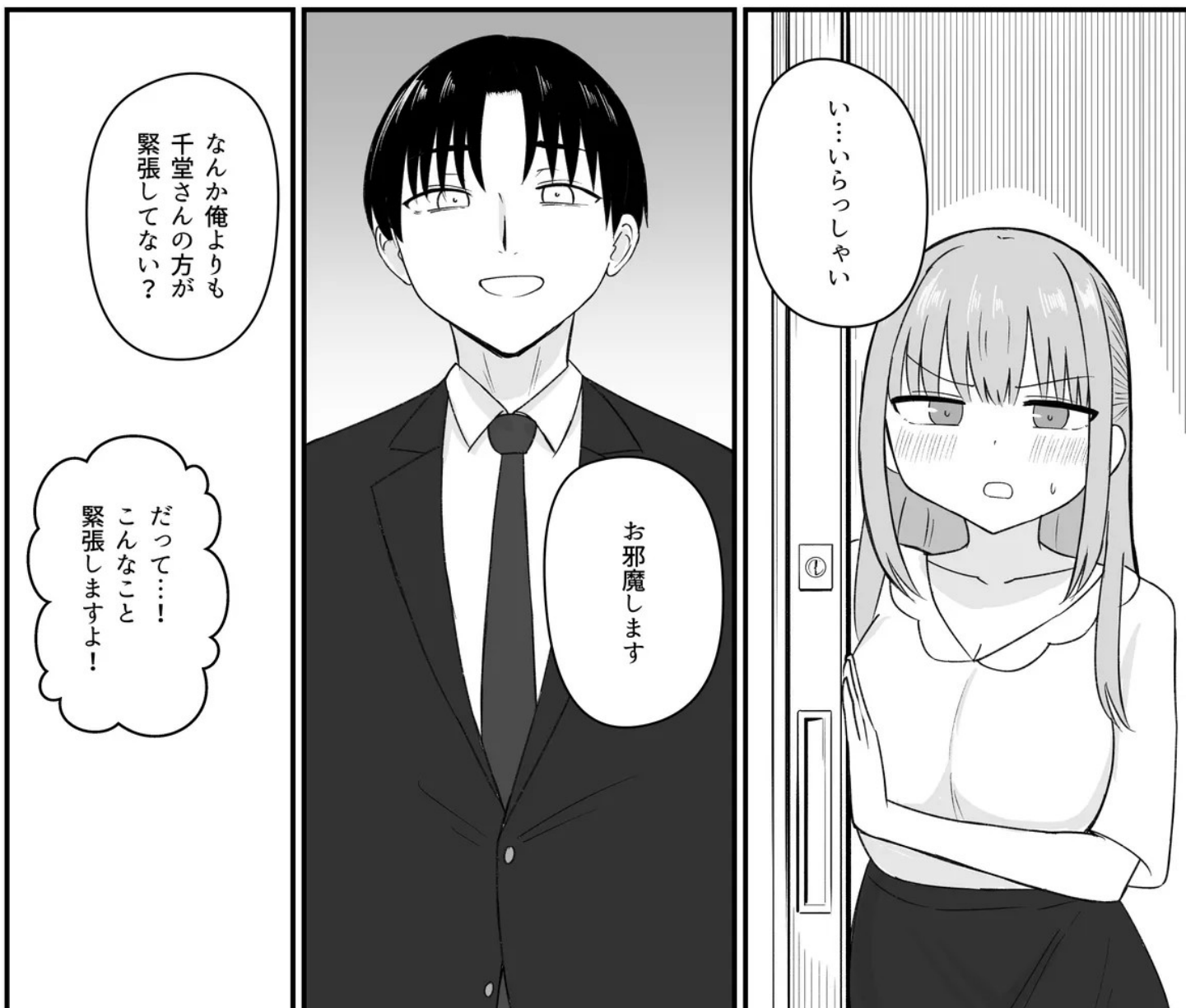
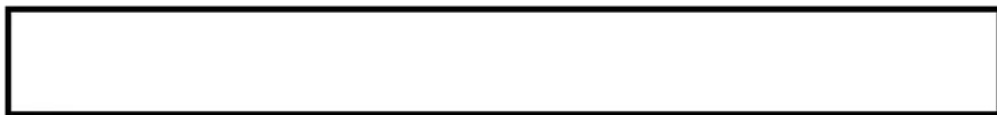




でも契約結婚だって
いつでも好きでもない人
と一緒にいるなんて
小鳥遊さんはいいのかな…

形だけの結婚なら
私みたいな居ても
居なくても変わらない
人間が都合いいって
ことなんだろうけど…

小鳥遊さんと結婚…
こんなに美味しい話は
ないと思う…



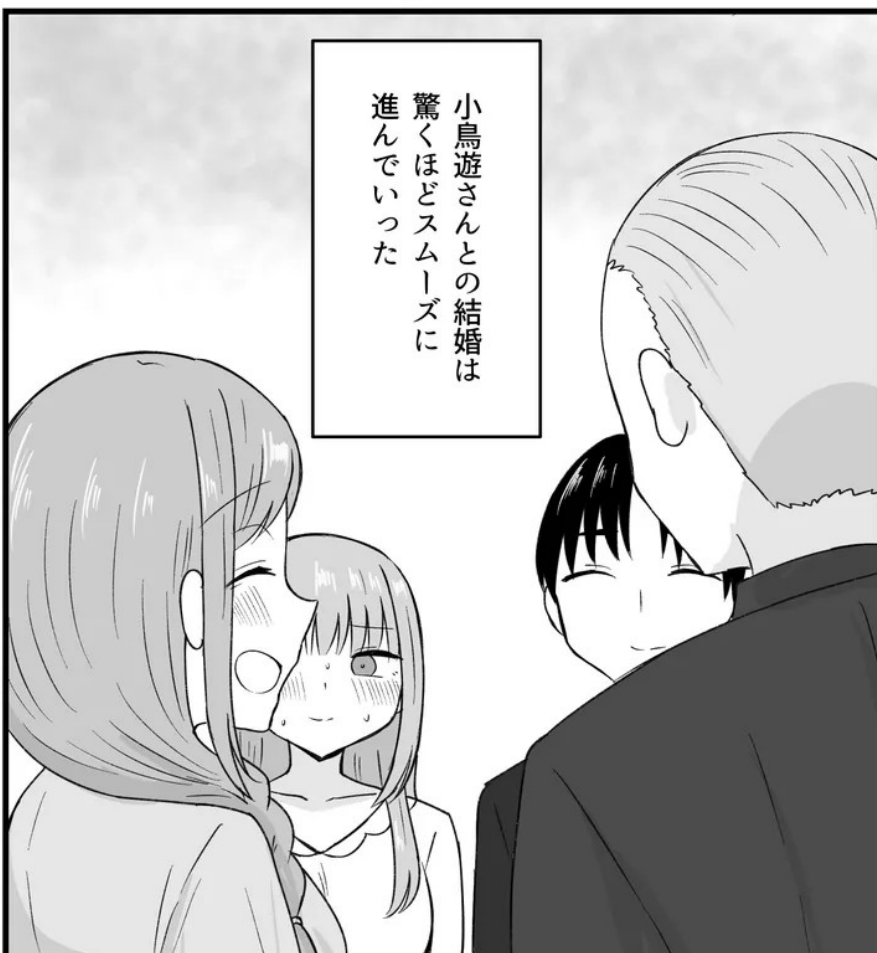


でも今日は俺が
頑張らなきゃ
いけない日だからね

娘さんを
僕にください！



うちの両親には前の職場を
辞める前から付き合っていた
ということで説明した



小鳥遊さんとの結婚は
驚くほどスムーズに
進んでいった





このとき私は
初めて小鳥遊さんの
素顔を見た気がした



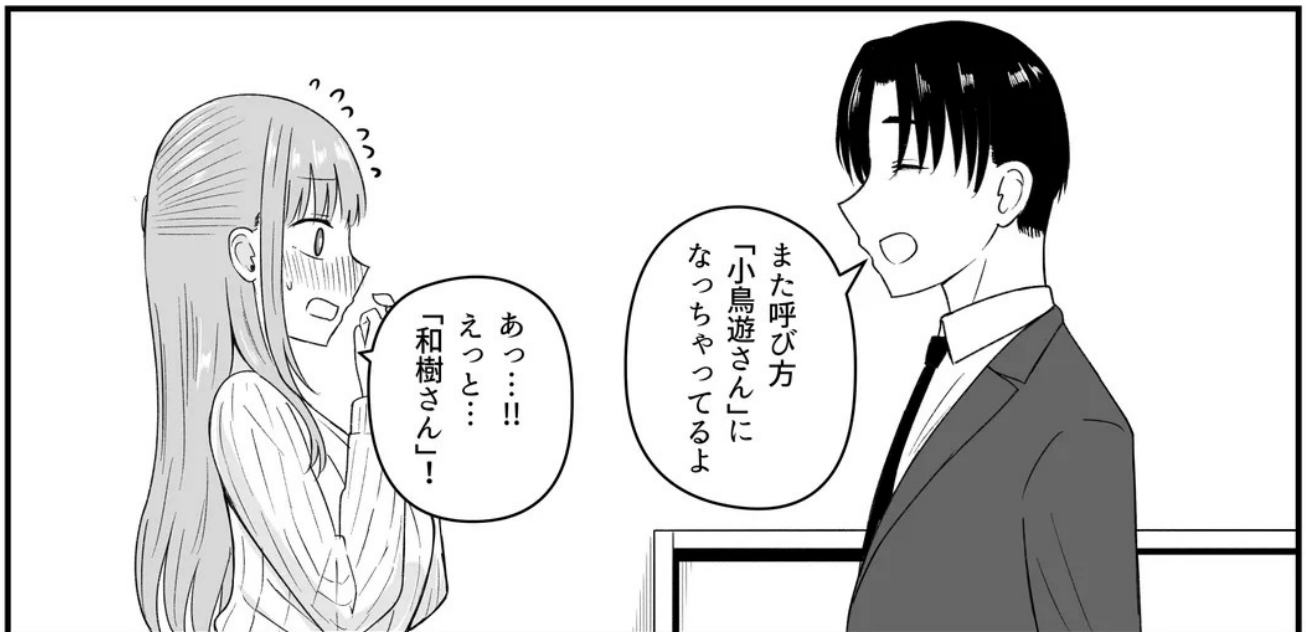
だから思ってしまった
この人の素顔がもっと
見たいだなんて

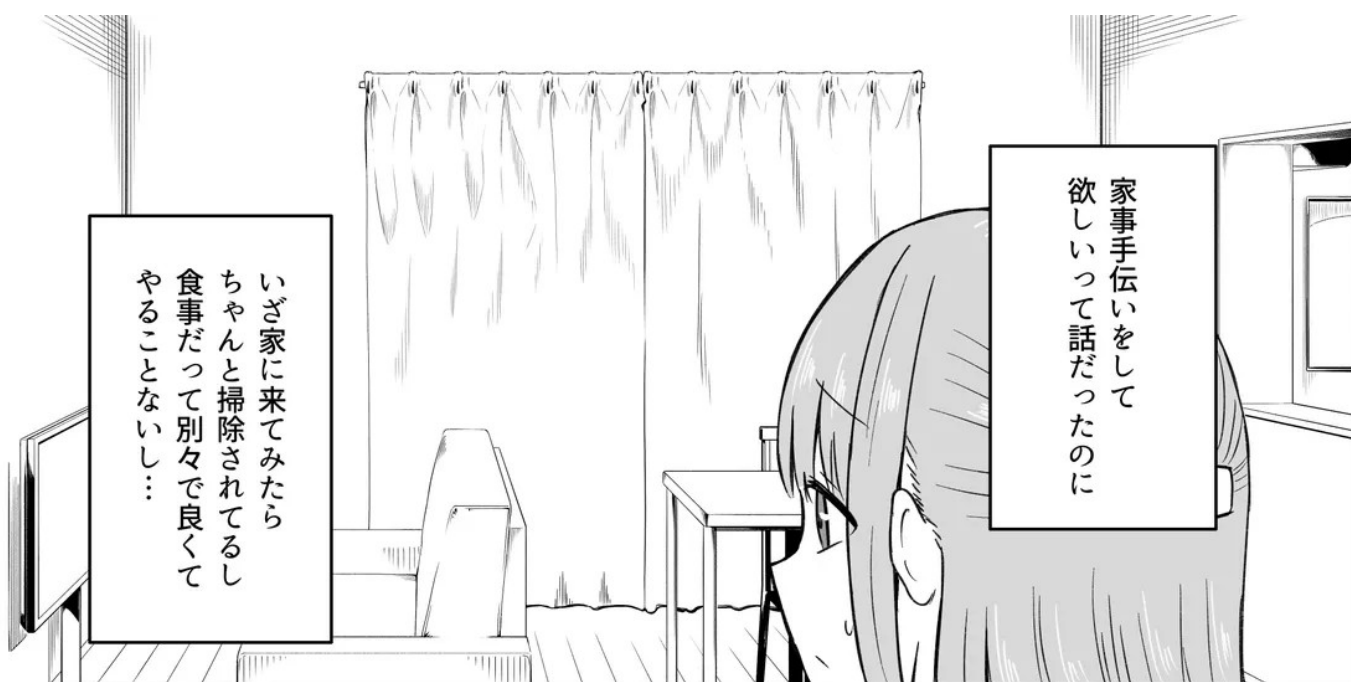


でもどこか
無理してるような
気がして



小鳥遊さんは
会社に居たときずっと
ニコニコしていて
優しい人だと思ってた





家事手伝いをして
欲しいって話だったのに

いざ家に来てみたら
ちゃんと掃除されてるし
食事だって別々で良くて
やることないし…



これじゃ今までと
何も変わらない



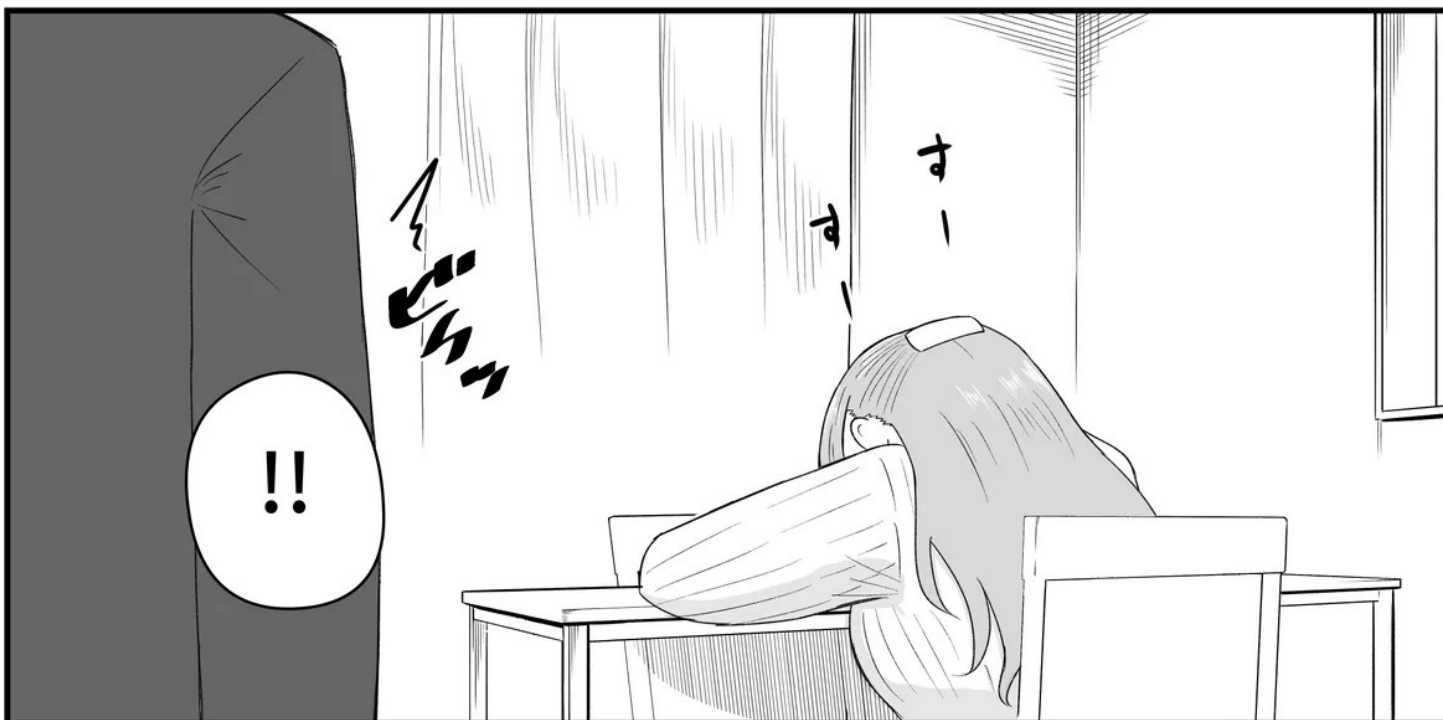
こんなじゃああの人の
素顔を見せてもらうなんて
いつまで経っても無理だよ…

よしっ…!!!



いやむしろ
悪化してる!!

親の脛をかじるどころか
他人に養ってもらってるなんて!!















佳穂さんが
悪いんだよ
俺なんか優しく
するから

あ、

ん、

ぐん

ぐん



…もう濡れてる
佳穂さんって
えっちなんだね

ぬ
ちゅ



だから
こういうこと
されちゃうんだよ

にちゅ

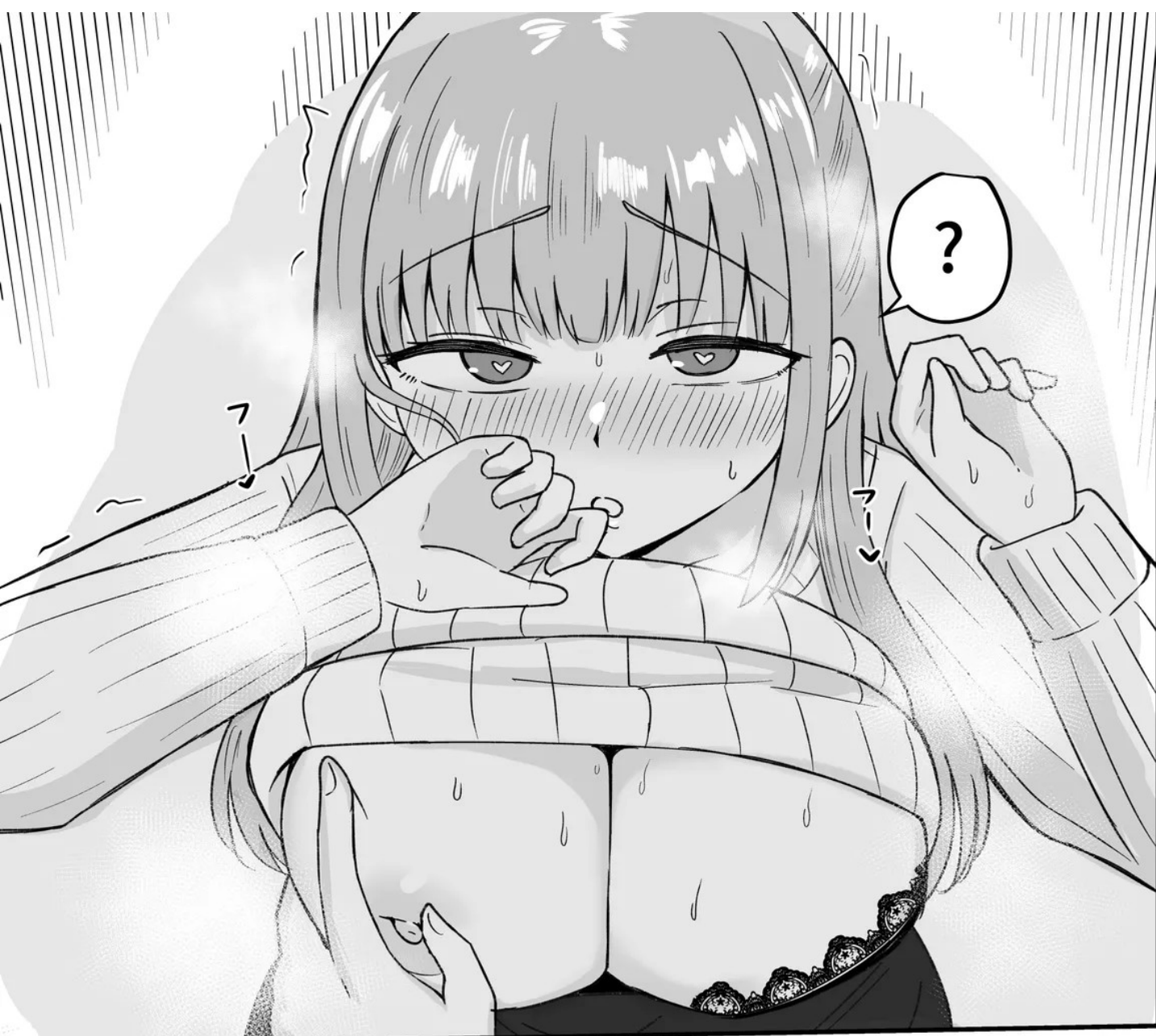
にちゅ



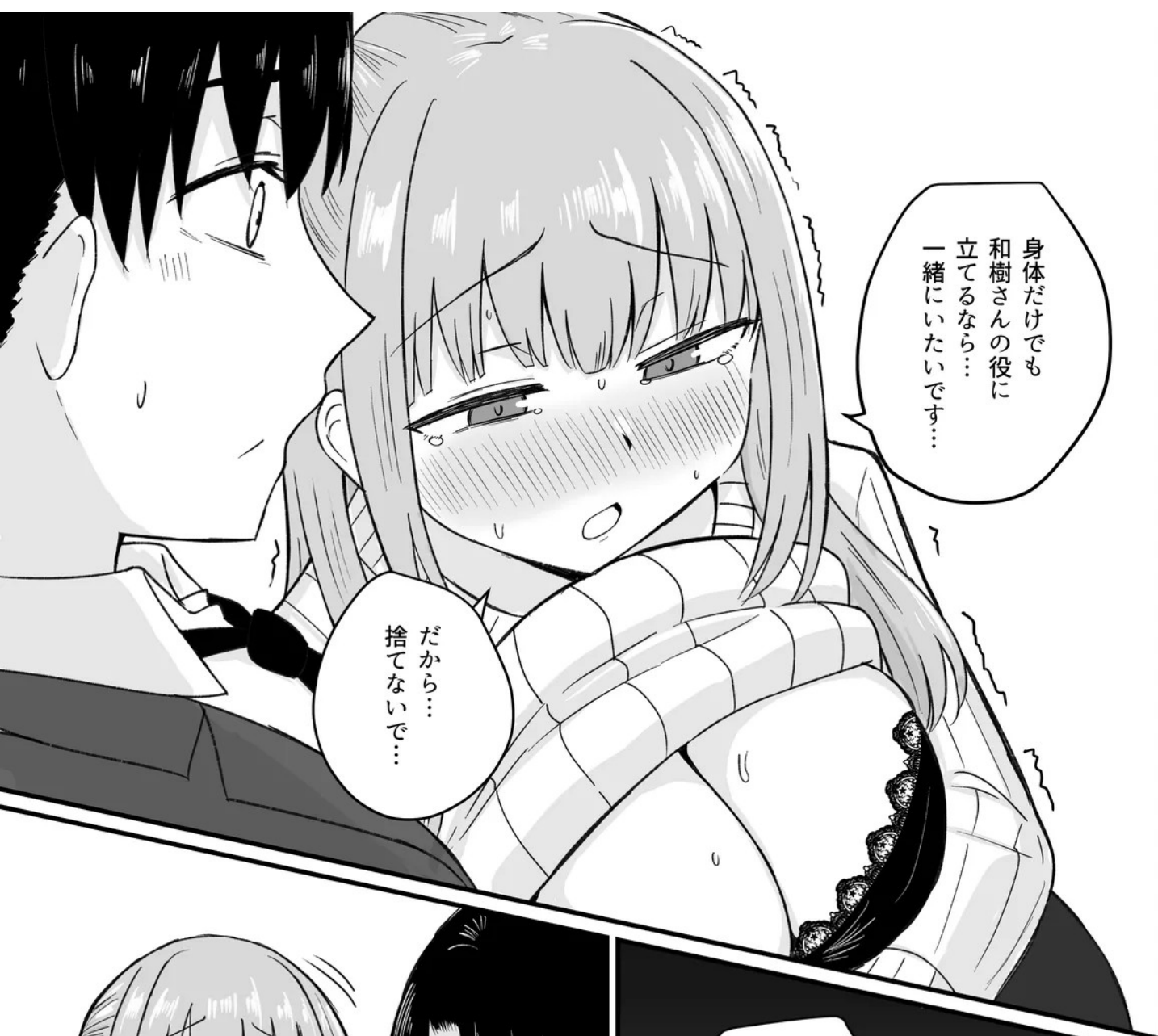
どう？
分かった？

どれだけ自分が
人を惑わしてるか

ど

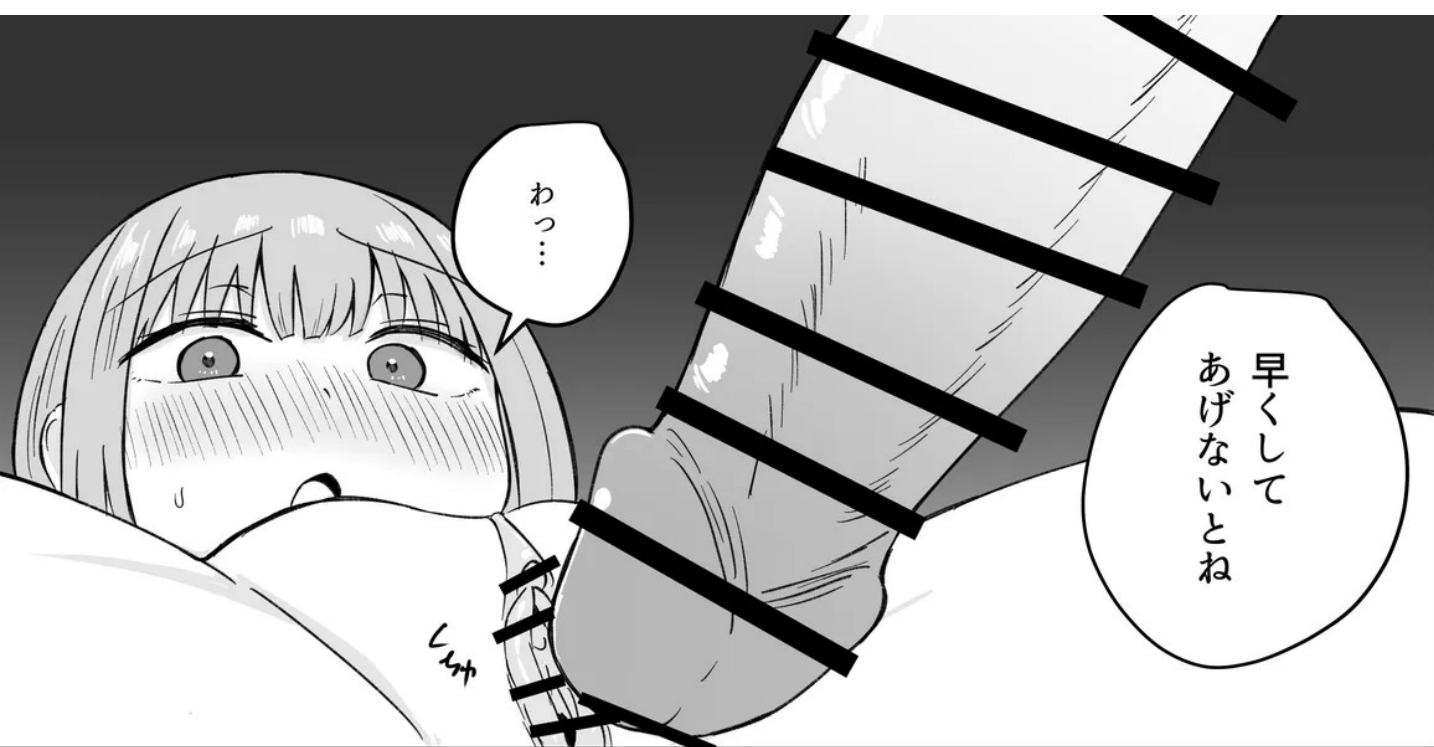


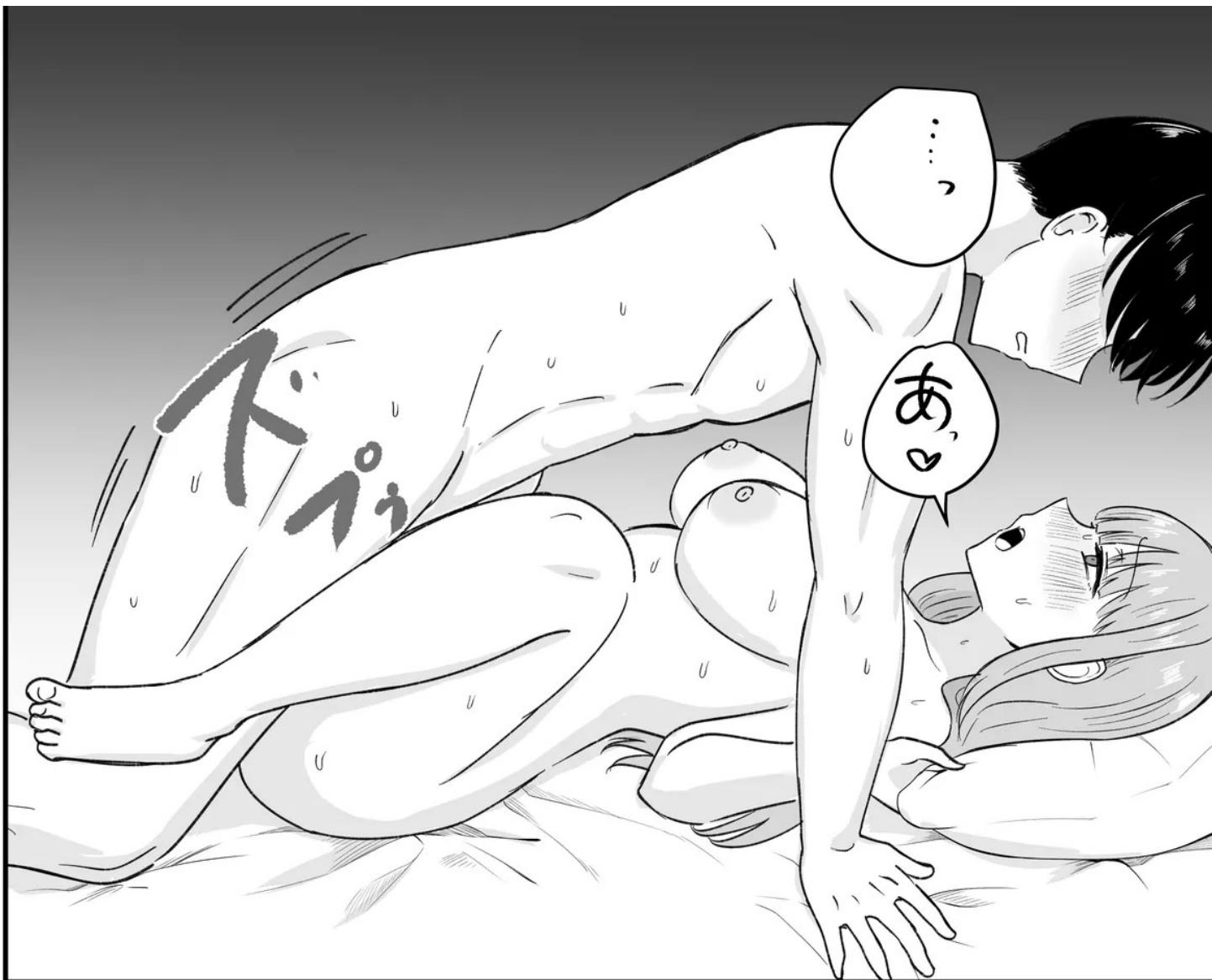




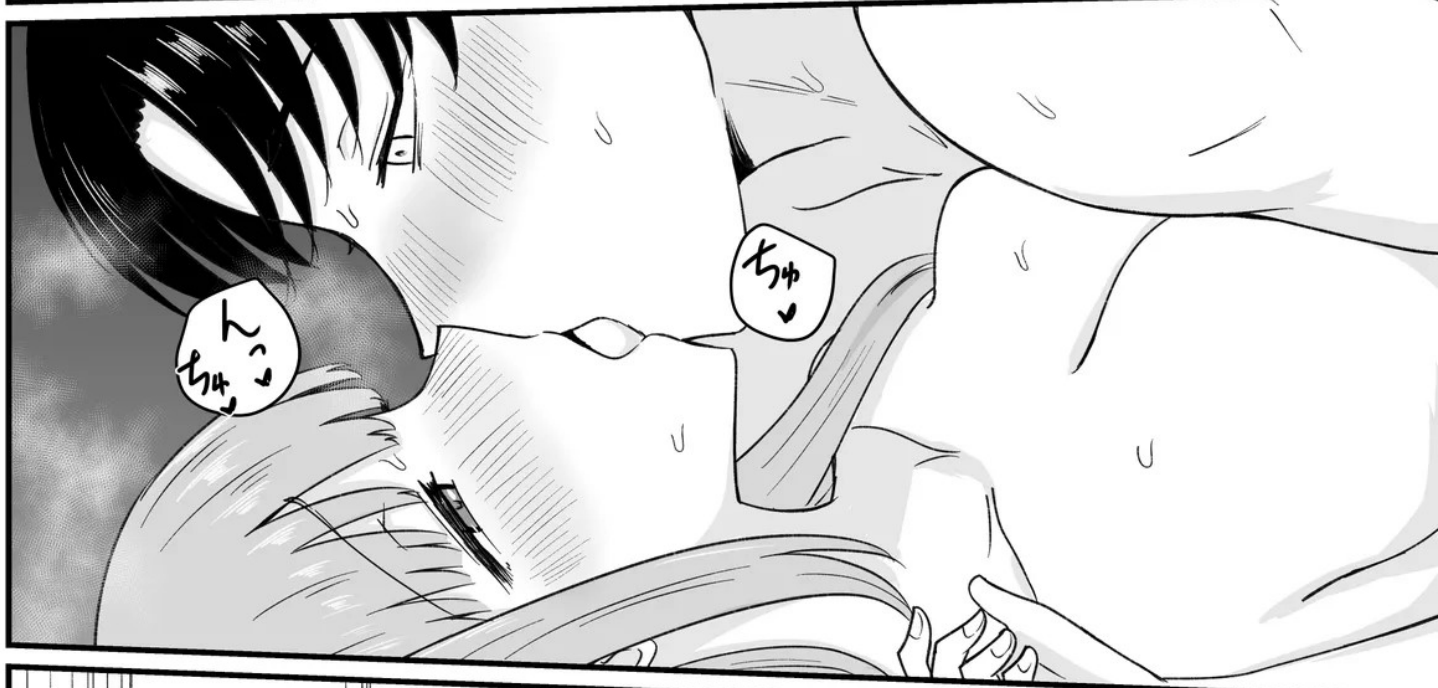






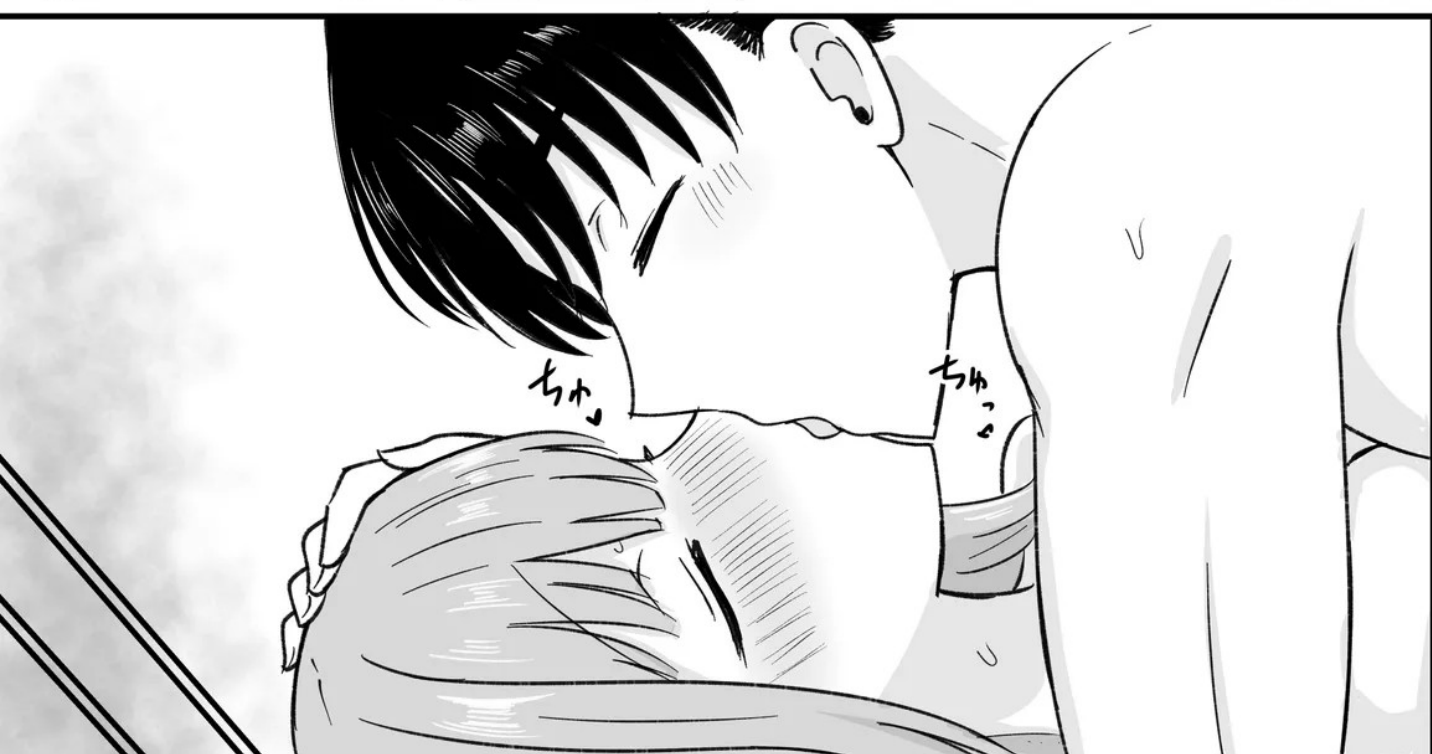
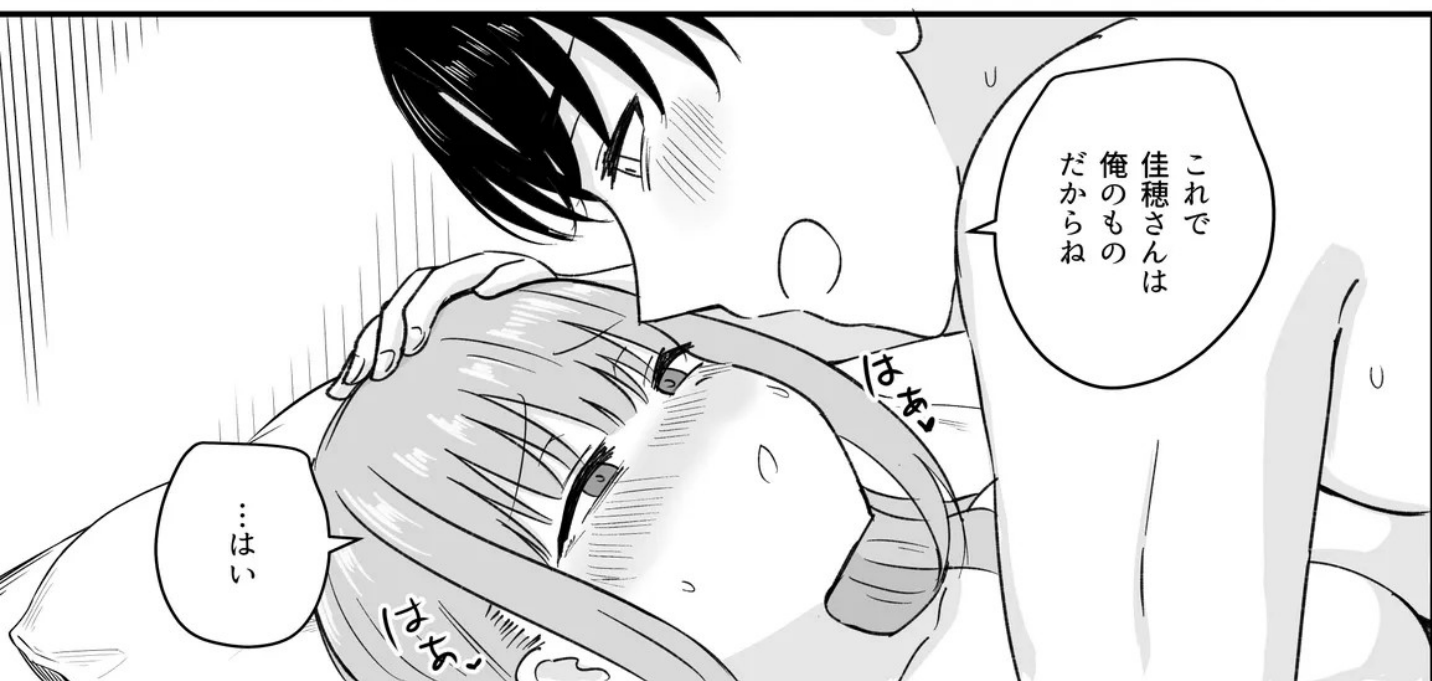
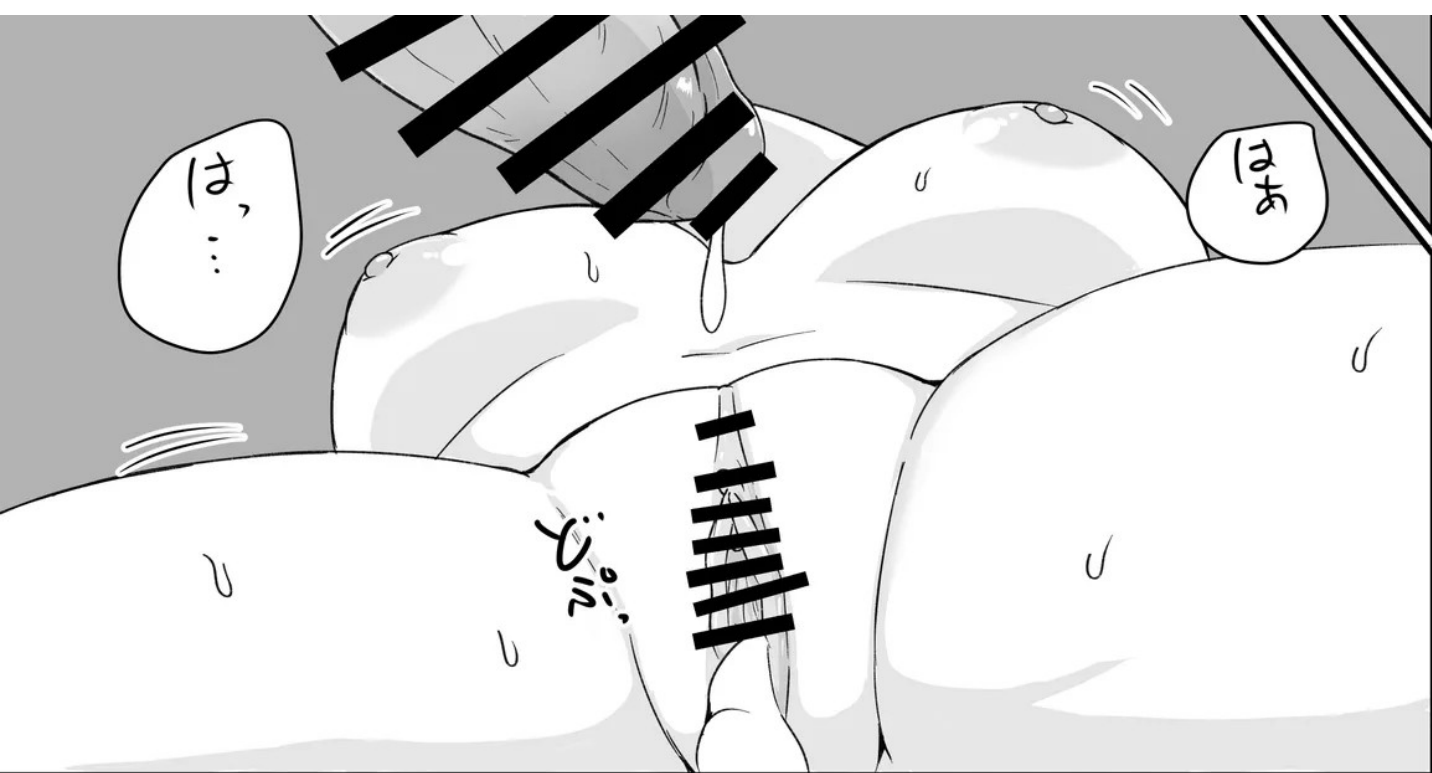














俺は今まで
素の自分を隠して
誰にでも平等に
接してきた

それで周りからの
信頼と評価を得て
そこそこの人生を
歩めていた



あの日新入社員で
入ってきた彼女と
出会うまでは



他の人と同じように
適度に優しくすれば
いいと思ってたのに



彼女の優しさに
自分の感情が
抑えきれなく
なっていた



このままでは
いけない
俺の人生は平穏で
なくてはいけない…



彼女の仕事への熱を
利用して本社に薦めて
自分から遠ざけることに
決めた



彼女が居なくなつて
しばらくが経ち
いつも通りに戻れる
と思つたのに

これで良かったと
自分に言い聞かせている
だけにしか思えなかつた



小鳥遊さん
千堂さんの話
聞きました？

千堂さん？
何かあったの？

体壊して
会社辞めちゃつた
そうですよ

なんか本社で
上司に色々されて
病んじやつたとか…



俺は自分が
とんでもない間違いを
したと後悔した

だからもし彼女に
もう一度会えたら
俺は人生を賭けて
尽くすと決めていたんだ



この人がどうして
私なんかを気に入って
くれるのか分からない…

分からないけど…



……

和樹さん…
寝ちゃった？



和樹さんの
素顔はすこし
可愛くて
私はそれが好き…

それだけで
いいんだ…





「ダメな私は完璧なあの人に溺れていく」

発行日 2024年12月30日

発行元 恋紙屋

恋紙屋